

一年間の分館活動を振り返って

～さまざまな活動の一端を紹介します～

第一区

砥沢ハイキング

分館長 伊藤 道男



十月二十日、小学生以上を対象とした「砥沢ハイキング」を開催しました。樋橋から砥沢沿いの林道を往復八キロほど歩くコースです。親子で参加された方や、ご夫婦、ご友人同士などたくさんの方が参加され、赤や黄色に染まりつつある里山を歩きました。

道沿いの山に入ってキノコを探索する人、無邪気に駆け回る子どもたち、それぞれにハイキングを楽しんでいました。折り返し地点の休憩場所では昼食を摂り、分館手作りの「きのこ汁」を参加者に振る舞いました。ジコボウやクリタケなど、里で採れたきのこを入れた秋が詰まった一杯です。五感で秋を満喫できた行事となりました。

今後も、区民の皆様が多く参加され、楽しみながら、良いコミュニケーションの場となるような行事を企画していきたいと考えています。



第二区

本陣にてのお茶会

分館長 丸山 修司

区内にある本陣、岩波家で、中山道随一とされる回遊式の庭園を眺めながらのお茶会を十月十三日に行いました。最初に岩波家の御当主より本陣の歴史についての解説を聞いていただいた後、本陣に残る貴重な資料や文化財などを公開していただきました。

お茶会は、町公民館活動の茶道教室から発展した、裏千家の青竹茶道くらぶの皆様のお点前により、本格的で優美な雰囲気の中行われました。

身近にありながら訪れる機会の少ない文化財に触れ、茶道の心を学ぶことができました。



第三区

駅前で盆踊りをする会

分館長 諏訪 敏和

八月十一日、十二日、第三区・第三区分館・三笠流社中が共催して、下諏訪駅前広場で『盆踊りをする会』を開きました。かつては街中のあちこちで見られたものの、今は限られた場所では参加できなくなった「盆踊り」で、地域コミュニティの活力の一助とできないものかと考えたものであります。



二日間で延べ約八十人の参加があり、両日共に口開けは下諏訪木やり保存会の一斉で雰囲気盛り上げ、三笠流社中を手本に中央に置かれた櫓の周りを輪になつて踊りました。また会場の片隅ではコミュニティ助成事業によって購入したポップコーンマシンの披露も兼ねて、来場者にポップコーンを振る舞いました。

第四区

令和元年の文化祭

分館長 筒井 敏実

記念すべき令和元年の文化祭を十月二十七日に開催しました。事前に区内小学生の皆さんにポスターを描いて頂き、各所に掲示。区民の皆様への開催案内とすると共に、当日は作品として会場へ貼り出し、力作を鑑賞して頂きました。



一方、区民の皆さんの作品展示では、写真や絵画、手芸品等々、日頃からの力作を多数お寄せ頂きました。鑑賞された皆さんは趣味の多さとそれぞれの作品の完成度の高さに感心されておりました。

会場の庭では旬野菜の特売や焼き鳥、焼きそば、子ども向けには綿あめ機やポップコーン機を例年通り用意。大変好評でしたが、今年は更にお子さん向けにストラックアウトやボウリングゲームを用意。好天に恵まれた会場の庭に元気な声が響いておりました。

第五区

津島神社祇園祭

分館長 高木 秀貴

私たちの住む高木区には、津島神社があります。神殿のやや南には舞屋があり、その昔は村内の寄り合いや芝居見物の場所だったとか：（当地区古老談）。江戸時代からの歴史のあるこのお社は、七月の第二週には祇園祭があり、区民が境内に大勢集まってくるにぎわいます。



六月になり、分館運営の中で一番大きな行事である祇園祭を計画する中、役員から意見が出ます。「イベント感より祭り感を出そう」「人の流れを意識した出店を」で纏まり、当日が来ました。

開始前、全員でお参りを済ますと、早速中央で太鼓の演奏が響きます。打ち手の方々は、当社の宮司様に紹介していただいた和太鼓若衆音鼓の皆さんです。その間、模擬店も盛況を見せます。

例年にぎわいを見せる入口から中央はもちろん、奥の神殿前にも新たに店を配置し、子どもを中心に大勢が往来しました。



第六区 歩け歩け運動

分館長 唐澤 仁



10月6日(日)、大平までの「6区歩け歩け運動」を行い、参加者は幼児から90歳の女性を含め、45名の参加がありました。下屋敷、町屋敷をそれぞれ出発し、萩倉からの参加者と合流して、所沢バス停にて出発式。事故防止の注意事項を徹底した後、大平目指して出発。子どもの頃の白黒テレビの話、月光仮面の話などをしながら歩きました。途中二回の休憩後出発。栗を拾いながら大平に到着しました。

ブルーシートの会場に円座になり、相互に話をして区民の懇親が見られました。現地で作った豚汁、焼きそばの味が忘れられません。昼食後は、全員でのビンゴゲームで盛り上がりました。



第七区

家庭教育講座「きのこ勉強会」

分館長 茅野 弘行



10月14日(月) 体育の日に家庭教育講座「きのこ勉強会」を開催いたしました。今年のはきは、9月10月の高温が影響して、例年より数が少ないということでありましたが、「雅の会」の皆様

の献身的な努力によりまして、とても多くのきのこを用意していただきました。持参してきたきのこの選定も行われ、毒の有る無しだけでなく、とても珍しいきのこも見ることができて、大変勉強になりました。当日は7区区民はもとより、他の区から、また町外から(原村、茅野市、箕輪町、上田市等)、そして滋賀・岐阜・愛知など県外の方も来場し、内外に広く知られている勉強会であることを実感しました。また当日は約十種類を入れたきのこ汁も用意していただき、来場者の皆様にはとても喜んでいただきました。



第八区 神明神社祭

分館長 大澤 裕樹



秋も深まった、十月中旬に第八区では、今年も神明神社祭が行われました。

毎年、氏子会を中心に各種団体の協力の下、宵祭り和本祭りを二日にかけて盛大に行うのですが、今年はなんと台風19号が初日に直撃してしまい、宵祭りの開催を断念せざるを得ないというハプニングが起きてしまいました。

多大な準備を行ってきた各種団体の皆様への悔しさについては、心中察するところではありましたが、一転、台風一過の二日目は見事な晴天となり、朝早くより子供神輿や長持ちの練り歩き、午後からの神事、団体長による相撲の奉納が無事行われました。また、その後の区民パーティーでは、とても盛り上がり、初日分を取り戻す勢いで区民の皆様楽しんでもらうことができました。



第九区

会場設営の新技术を開発

分館長 与曾井 秀治

去年の12月末に、注連飾り講習会を開催しました。何しろ12月ですので、冬支度で臨みました。ところが、その日は雨が降り同時開催の餅つきが出来なくなりそうでした。そこで、公会所入口からブルーシートを庭側にはり、三角形の空間を作り、その中で餅つきを実施しました。いつもと違う風景に子どもたちも興味津々でした。



そして、今年の納涼祭を7月27日に開催したのですが、なんと台風直撃で、またも大雨予報。活躍したのが去年のノウハウです。公会所入口付近にテントを二張り配置し、間にブルーシートで広い空間を確保、中で屋台を実施しました。屋内での宵祭りですので、盆踊りを開催できなかったのが心残りですが、狭い空間で大勢で身を寄せ合っただけで、楽しかったです。また準備に2倍時間がかかり、役員方には感謝の一杯です。ありがとうございました。

第十区

区民親睦ボウリング大会

分館長代行 小松 和夫

六月二十三日(日)ココレーン諏訪店で区民親睦ボウリング大会を開催しました。幼児から大人まで五十四名に参加いただきました。例年二月頃に開催していましたが、本年は時期を変えてみました。区長以下役員による始球式で競技開始。各レーンからはストライクによる歓声とハイタッチ、ガターによる悲痛な叫びが聞こえ、隣のレーンの方々とも入り混じって楽しんでる区民の皆さんの姿がありました。



あつという間に楽しく2ゲームを終了しました。いよいよ成績発表です。上位入賞とトビ賞が用意されています。親睦とはいえ成績は気になるものです。拍手のうちに終了。区民の皆さんそれぞれに楽しいひと時を過ごされたことと思います。手軽なボウリングで今後も親睦を図っていただきたいと思います。

下諏訪町豆知識：知ってる？下諏訪町にある小字(町)名。その②

広報「クローズアップしもすわ」を編集していく中で、皆さんから下諏訪町の町名(字名)は複雑で、どの区にどこの町が属しているのかよく分からない、という声をお聞きます。以前、この欄で1区、2区の町名を挙げましたが、今回はその第2弾、町で一番大きな第3区と第4区、第5区を取り上げ、町名を紹介します。

* * * * *

第3区(線路上)：大社通、上馬場(かみばっぱ)、菅野町、富士見町、広瀬町、友之町、平沢町、花咲町、中汐(なかしお)町、魁(さきがけ)町、曙(あけぼの)町、矢木東、矢木西、春日町、中央通、栄町、東弥生町、西弥生町。第3区(線路下)：西四王(1~4部)、北四王、東四王、南四王(1~2部)、東赤砂、西赤砂、東鷹野町、清水町、西鷹野町(1~2部)。

第4区：武居南、武居北、久保海道(1~2組)、湖畔町南、湖畔町北、上久保(1~2)。

第5区：東高木、西高木、南高木、北高木。

投稿

武田 響君へ

東鷹野町 山田 昇

昨年秋に、編集部に寄せられた原稿です。
各地区で行われる敬老会の折に、出席者には子どもたちからの手紙を差し上げています。

私は、第三区の東鷹野町に六十年の余生活をしてきて八十歳になり、敬老の日のお祝いの招待に今年初めて参加をしました。

お祝いの会が始まると、係の人から響君の作文をいただきました。

原稿用紙のマスいっぱい大きな字で書かれている文。夏休みに訪れたあずみ野のところを読み、おじさんは、何回も訪れた穂高神社、大王わさび農場、ちひろ美術館・・・を思い出しました。

作文の終わりに、しっかりと勉強することと書かれています。自分は将来こうありたいと目標を決めて勉強をされると良いかと思えます。

最近ですが、NHKのテレビが「国境なき医師団」で看護師として働いて

いる白川優子さんのことを放映しました。白川さんは今世界各地でおきている紛争地へ看護師として参加して活躍されている人ですが、小学校一年生の時に「国境なき医師団」にあこがれて看護師になられた人です。

よろしかったらインターネットで調べてみてください。初志貫徹（初めに心に決めたことろごしを最後までつらぬき通すこと）で活躍されている人です。

武田響君、毎日の食事をきちんと食べて、すいみんをしっかり取って、健康な身体を作られて目標に向かってがんばってください。

終わりにもう一度、作文をありがとうございました。

こども未来バス、出発進行!!

10月号でお知らせした「こども未来バス」。昨年末の12月15日に完成お披露目の式があり、町長とご来賓の方々、プロジェクトの子どもたちがテープカットを行いました。



参加者代表によるテープカット

バスの入口付近には、注意書きが。決まりを守って、楽しく使つてね。



その後、参加者全員が次々に「初乗車」。機密性のある室内は冬でも温かく、格好のお食事どころ、おしゃべりルームになりそうです。



プロジェクト委員による初お茶会

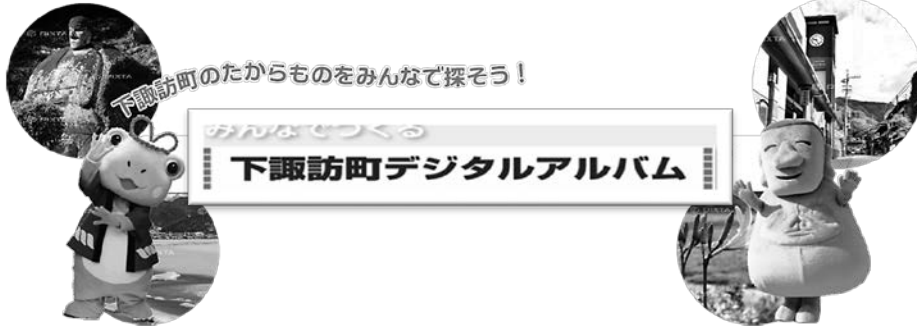


町立図書館からのお知らせ



3月7日から「みんなでつくる下諏訪町写真アルバム」のホームページがみられます。
<https://d-commons.net/shimosuwa/>

下諏訪町の古い写真などを見ることができます。ぜひご覧ください。



(長野県地域発元気づくり支援金事業)

新着記事



子どもの通学風景



カヤ屋根の葺き替え



奉安殿



宅地化する前の湖浜地区



宅地化する前の湖浜地区



下諏訪町眺望



子どもの川遊び



子どもの川遊び



スマートフォンからはこちら。
デジタルアルバムへ直接アクセスすることが出来ます。

情報をさがす

はじめての方へ

川辺のこゝろ

分館活動を振り返って

町内には十地区の分館が存在し、区内には地域の集まりがあるところがあります。地区の分館では、文化祭、運動会、家庭教育講座をはじめ、正副分館長や主事・各部役員等が企画する趣向が凝らされた催しが毎年行われています。

3月号では、地区行事の一部を紹介していますが、区の一環として行っている行事、区民の親睦を図るために実施しているもの、地域の歴史を掘り下げ史跡を訪ねるものなど、記事を拝見すると、いろいろ感じるがあります。

町スローガンの一つに、「協働して事業を進めていく」という目標があります。

公民館分館や区会・町内会の活動、公民館本館の講座から発足した自主グループや社会教育関係団体など、事業や活動を通して共に研鑽を深める中で、人と人との関係が育まれてきていると思います。

現在、少子高齢化の影響、六十五歳定年制など余暇の営みが窮屈になりつつありますが、ラクビーワールドカップ日本代表が掲げていたワンチームを地域一体に置き換え、ビクトリーロードの歌詞に込められていた思いが地域社会に根付くことの大切さを感じています。

(永田 陽一)